
「**卵巣脱出を伴う乳児の鼠径ヘルニアに対する腹腔鏡下鼠径ヘルニア根治術と**

従来法との比較」に関するお知らせ

このたび、当院で診察を行った患者さんのカルテ情報等を用いた以下の研究を実施いたします。本研究は、【埼玉医科大学病院IRB】の承認を得て、病院長による許可のもと行うものです。本研究では、患者さんに追加でご負担をお願いすることはありませんが、カルテ情報等を使用することに賛成でない場合、あるいはご質問がある場合は、患者さんご自身でもその代理人の方でも結構ですので、問い合わせ先までお申し出ください。お申し出いただいても不利益になることは一切ありません。

研究の概要について

1. 研究の対象となる方

2005年4月1日から2023年12月31日の期間に埼玉医科大学病院 小児外科で卵巣脱出を伴う鼠径ヘルニアと診断され、乳児期（1歳未満）に手術を受けた患者さんを対象としています。

2. 研究の目的

小児の鼠径ヘルニアでは腹腔鏡を用いた手術が広く行われていますが、卵巣の脱出を伴っている場合は体格の小さい乳児期に手術が必要になるなど難易度が高いと考えられます。本研究では卵巣脱出を伴う鼠径ヘルニアの手術成績を腹腔鏡と従来の腹腔鏡を用いない従来の術式で比較することを目的としています。

3. 研究期間

病院長の許可後～2025年12月31日

4. 利用または提供の開始予定日

2024年11月1日

開始予定日以降も研究への利用停止などのお申し出に対応いたします。

研究に用いる試料・情報について

1. 試料・情報の内容

本研究では以下のような診療データを調査し使用します。

- ・ 出生週数、出生体重、手術時月齢、手術時体重、ヘルニアの左右、既往歴
- ・ 術式（従来の方法または腹腔鏡）、手術時間、腹腔鏡を使用した時間、出血量、反対側のヘルニアの有無（腹腔鏡の場合）
- ・ 手術の合併症、術後在院日数、術後通院期間、ヘルニア再発や反対側のヘルニア発生の有無

上記項目のデータは診療記録等を用います。この研究で得られた患者さんの情報は、埼玉医科大学病院 小児外科において、研究責任者である鈴木 啓介が、個人が特定できないように加工した上で管理いたします。そのため、患者さんのプライバシーが侵害される心配はありません。

2. 試料・情報の取得方法

上記項目のデータは診療記録等を用います。

3. 試料・情報を利用する者（研究実施機関）

- ・ 埼玉医科大学病院 小児外科 鈴木 啓介（研究責任者）
- ・ 埼玉医科大学病院 小児外科 田中 裕次郎
- ・ 埼玉医科大学病院 小児外科 関 千寿花
- ・ 埼玉医科大学病院 小児外科 吉田 美奈

4. 試料・情報の管理責任者

【埼玉医科大学病院】病院長 篠塚 望

お問い合わせについて

ご自身のカルテ情報等を利用されたくない場合、あるいはご質問がある場合には、以下の連絡先までご連絡ください。

利用されたくない旨のご連絡をいただいた場合は、研究に用いられることはありません。

ただし、ご連絡いただいた時点で、既に研究結果が論文などで公表されていた場合、結果などを廃棄することができないことがありますので、ご了承ください。

埼玉医科大学病院 小児外科 鈴木 啓介

住所：〒350-0495埼玉県入間郡毛呂山町毛呂本郷38

電話：049-276-1654（土日祝日を除く 8：30～17：30）

メールアドレス：suzuki25@saitama-med.ac.jp

○研究課題名：卵巣脱出を伴う乳児の鼠径ヘルニアに対する腹腔鏡下鼠径ヘルニア根治術と従来法との比較

○研究責任者：埼玉医科大学病院 小児外科 鈴木 啓介